

科目名	子ども家庭福祉		
担当講師	坂井 勉	実務経験の有無	有・無
授業形態・単位数	講義 30 時間・2 単位	開講学年	1 学年 後期
評価基準	筆記試験 (70%)、授業態度・提出物 (30%)		
目標	①現代社会における児童家庭福祉の意義と歴史の変遷について説明できるようになる。 ②児童家庭福祉と保育との関連性及び児童の人権について説明できるようになる。 ③児童家庭福祉の制度や実施体系等について説明できるようになる。 ④児童家庭福祉の現状と課題について説明できるようになる。		
回	講義内容	方法	
1	児童家庭福祉の理念と概念 児童家庭福祉の実際の活動内容・実践対象と方法	講義	
2	児童家庭福祉の歴史の変遷 児童家庭福祉の理念・実践の変化と現代の児童家庭福祉の理解	講義	
3	現代社会と児童家庭福祉 現代社会における子育ての実態と児童福祉の必要性 世帯構造／生活意識の変化と家族の実態／現代家庭の在り方	講義	
4	子どもの人権擁護 1 児童の権利擁護／保育所／保育士の仕事／児童の権利に関する条約	講義	
5	子どもの人権擁護 2 子どもの権利を護る福祉の仕組み／第三者評価事業／苦情解決	講義	
6	子ども家庭福祉の制度と法体系 保育に関する諸制度／保育・福祉の法体系	講義	
7	子ども家庭福祉行財政と実施機関 児童家庭福祉を支える機関と実務内容	講義	
8	児童福祉施設等 児童福祉施設の概要と法的枠組み／福祉サービス	講義	
9	子ども家庭福祉の専門職・実施者 それぞれの職場と仕事	講義	
10	少子化と地域子育て支援、母子保健 子育て支援施策の変遷と現代の施策の概要	講義	
11	多様なニーズへの対応 地域における保育サービスの展開	講義	
12	児童虐待、ドメスティック・バイオレンス、社会的養護 児童虐待の実態と対応	講義	
13	障害のある児童、少年非行等への対応 在宅障害児の暮らしと支援制度／少年非行	講義	
14	ひとり親家庭、子どもと保育 母子家庭、父子家庭、母子福祉施設／食育基本法	講義	
15	テスト・まとめ	テスト	
テキスト・参考書	「児童の福祉を支える 児童家庭福祉」(萌文書林)		